

機械器具 39 医療用鉗子

高度管理医療機器 心内膜心筋用生検鉗子（JMDN コード：70937000）

ジョーズ

再使用禁止

【警告】

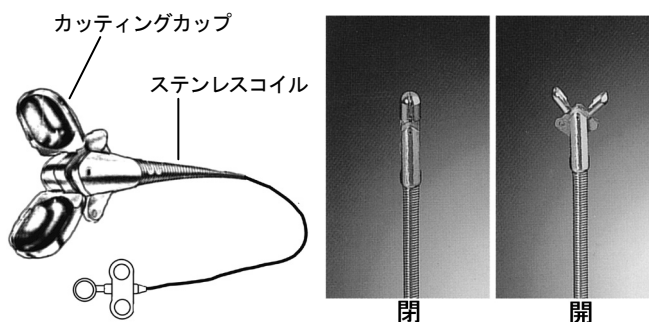
- ・使用前に、包装及び製品に損傷が無いことを確認して下さい。無菌が保たれていない可能性があるため、包装に傷のある製品は使用しないで下さい。
- ・生検鉗子は、一人の患者一回使用です。再使用はできません。

【禁忌・禁止】

- ・再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

<構造図>



原材料：ステンレススチール、テフロン

◆概要

- ・50cmタイプは、頸動脈アプローチから右心室、そしてフェモラルアプローチから、小児の右・左心室に使えます。
- ・105cmタイプは、フェモラルアプローチから右・左心室に使えます。
- ・ステンレスコイル部分がテフロンチューブで被覆されているものもあります。

**【使用目的又は効果】

1. 使用目的
本品は、ディスポーザブル心筋バイオプシー鉗子である。

**【使用方法等】

本品は、ディスポーザブル製品であり、1回限りの使用のみで再使用できない。

- ・生検鉗子は、X線透視下、または超音波透視下で、右・左心室にイントロデューサー、またはガイディングカテーテルを通して進めていきます。
※検体を採取する前後に、心室内のロングシースイントロデューサー、またはガイディングカテーテルの位置を確かめて下さい。
- ・ロングシースイントロデューサー、またはガイディングカテーテルのディスタル側からジョーズを出してから、ジョーズを開いて下さい。
- ・開いたジョーズは心壁に位置していなければなりません。ジョーズを閉じるときは完全に閉じ、シースイントロデューサー、またはガイディングカテーテルを通して検体を回収する際は、常にしっかりと持ち続けて下さい。

- ・イントロデューサーシース、またはガイディングカテーテルにヘパリン加生理食塩液をフラッシュさせながら、鉗子、検体をゆっくりと引き出します。

※フォーマブルと記載された生検鉗子は、先端を形づける事が出来ます。親指と人指指の間にはさんでアングルやカーブを形づけたり、形を修正できます。求めるアングルに曲げながら、指を先端チップ部でスライドさせます。90度以上に折り曲げないで下さい。

【使用上の注意】

重要な基本的注意

1. 一回限りの使用とし、再使用、再滅菌はしないで下さい。エチレンオキサイドによって滅菌されています。
2. 鉗子は検体を採取する前に、ヘパリン加生理食塩液でよくすすいで下さい。
3. 心臓の状態は、心電図によってモニターして下さい。

一般的注意

- ・取扱は無菌的に行って下さい。
- ・包装が破損又は汚損したものは使用しないで下さい。
- ・包装に記載されている使用有効期限（EXPIRATION DATE）を経過しているものは、使用しないで下さい。

**【保管方法及び有効期間等】

1. 貯蔵・保管方法
本品を保管するときは、次の事項に注意すること。
・水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿を裂けて保管して下さい。
2. 使用期限
使用期限はラベルに記載してあります。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

<製造販売業者>

* ガデリウス・メディカル株式会社
 電話番号：042-769-3221

<製造業者>

アルゴン メディカル デバイセス
 (Argon Medical Devices, Inc.)

<製造先国>

アメリカ合衆国